

# 明日葉

2010年2月  
第41号

Human Native Health Research ~人類本来の健康を追求する~

## 新理事長に神山五郎氏 (医学博士・哲学博士) 就任 皆川は副理事長兼専務理事

2000年9月にNPO法人ネイティブヘルスが発足して以来、理事長は、ネイティブヘルス創始者である皆川容子が務めて参りましたが、この法人の目的である「医療・福祉の活動」のためには、その任を医学専門者に継ぎたいと、かねがね考えておりました。

07年に、東京支所開設したその日に、神山先生をご紹介いただき、その後、先生が梅田にご来所下さったり、皆川が上京の度にお会いしたりしてきました。

親しくお話するほどに、また、いろいろお教えいただくうちに、そのご見識の深さと、お人柄に魅かれて参りました。

先生も、当初からネイティブヘルス(菜食整腸健康法)に関心を寄せられ、深いご理解を示して下さい、当法人の主旨にも共鳴し、何かとご協力をいただくようになっておりました。

幸いにも、(故)松田先生は、以前から神山先生をご存じでいらっしゃいました。理事長をドクターに、という相談を松田先生にしました際、「自分は忙しくて無理だけど神山先生はどうかな」という話も出ておりました。

そこで、昨年、神山先生にご依頼いたしましたところ、お引き受けいただくことになりました。

昨年は、松田先生ご逝去による理事退任、東京支所移転、名称変更等による定款変更などがあり、その都度、大阪府への申請、法務局への届け等で手間どっておりましたが、この度、ようやく全ての手続きが完了しまして、本年1月より、神山五郎先生が理事長となります。

尚、皆川容子は、副理事長兼専務理事として、今まで以上に、整腸法の指導、普及活動、およびチカコサロンの充実等に力を注いでまいりたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

### 柳本信雄氏 (歯科医師) と 杉原伸夫氏 (内科医師) も新理事に

理事長交代と同時に、新しく理事として、柳本信雄先生、杉原伸夫先生にもご就任頂くことになりました。

柳本先生は、口と腸の関係を説かれ、チカコ健康サロンでも何度も講演していただき、数年来、当法人に多大なご協力をいただいております。

杉原先生は、消化器専門で、腸マッサージについては、非常によくご理解を下さり、当研修生に、医療関係の講義を担当して頂いております。

これで「医療・福祉に対する活動で社会貢献する」という目的に対して、盤石の態勢が整ったと、喜んでおります。

既役員の皆川、白井をはじめスタッフともども、健康づくりを通して、社会にお役に立つ団体として、なお一層の尽力をして参りたいと思っております。



ネイティブヘルスの頭文字NHを中心に Human Native Health Research (人類本来の健康を追求する) をデザインした新しいロゴマークです

## 理事長を拝命して

### 神山五郎



皆川容子先生  
および、故松田先生（医師）をはじめ、その他各位のご尽力で、NPO法人ネイティブ

ヘルスは、設立10周年を迎え、法人の組織は一層堅固になりました。

私、神山五郎は、この度、このNPO法人の理事長を拝命することとなりました。想定外のことですが、高齢ながら力を尽くします。

さて、順序としては、理事長の抱負などを語るべきなのでしょう。

過度の遠慮は「百害あって一利なし」でしょうから、思うことを羅列して各位のご意見を伺います。

- (1) 医療の現状を確認してから、自己の健康法を定めましょう。  
東京・五反田で少し勉強をはじめたことを想起します。  
資料としては、藤田紘一郎先生の「医療大崩壊」という講談社文庫、2009年刊、500円程度の読みやすい本を使用しました。数人でこの本を読み始めましたが、今までのご質問、その他がありませんでした。
- (2) 松田先生、皆川先生、柳本信雄先生（歯科医師）、杉原伸夫先生（医師）、昇幹夫先生（医師）、黒田クロ先生（漫書講演家）のお考えを尊重して参りましょう。  
関係する即刊書、および会報その他の資料があります。複写の都合のつくものはどしどし事務局に請求し、読みましょう。そしてご意見、ご批判はどんどんお出しください。最終的には、理事長および理事が対応しますが、その他の指導者がお答えすることもあります。
- (3) 組織としての活動のあり方も考えましょう。

中央集権型（たとえば、日本古来の文化継承としての家元制度）か、非中央集権型（たとえば、薬物依存対策集団ダルク）か、その他さまざまでありましょう。英国で発達したクラブという排他的グループ組織も面白いです。広くモデルを探すなりして、現行法規を活用しつつ発展させましょう。釈迦に説法でしょうが、「小は大をかねる」こともあります。

(4) 神山の考えをこれ以上知りたいかたは、お手数ですが、拙著「神山五郎健康談議」をご笑覧いただきとう存じます。ご批判、ご質問を歓迎致します。

(5) とにかく、笑いながらやりましょう。呵呵大笑い！

### 神山五郎先生講演

2月19日（金） 15:00~16:30  
東京支所 新宿区四谷1-3三陽ビル4F  
「神山五郎の健康談議

—平成版養生訓—

### プロフィール

大正15年（昭和元年・1926年）5月5日生まれ 本籍東京都麹町区（千代田区）  
陸軍予科士官学校 終戦により退校（61期）  
東京歯科医学専門学校（現東京歯科大学）  
東京物理学校2部（理化学科）  
東京大学教養学部理科1類  
東京大学医学部医学科  
米国カンサス州立WICHITA大学  
大学院博士課程

以上それぞれ卒業

厚生省国立聴力言語障害センター言語課長  
文部省大阪教育大学障害児教育担当教授  
以後民間において健康増進、温泉医療、リウマチ医療、介護老人福祉施設施設長、世田谷区烏山診療所所長、アパリ・クリニック上野院長、e習慣クリニック上野院長などを経て、現在、静岡市におけるマリアの丘クリニック院長

著書：神山五郎の健康談議—平成の養生訓（ネイティブヘルスにお申し込み下さい）

## 新任理事プロフィール（敬称略）

柳本 信雄（やなもと のぶお）

ホロン柳本歯科クリニック院長      ホロン(カミカミ)クラブ代表

口腔（歯）と全身、口腔（歯）と心、さらには意識（＝魂）の成長・進化を視野に入れたホロン治療と名づけた統合的な医療を提唱している。ホロンとはつながりを表している。

初めは単に歯をみることから、かみ合わせを通して全身との関係を見るようになった。やがて歯の治療に使う金属やフォルマリンが身心の不調の原因になることに気づく。さらにかみ合わせは、骨が外力（横寝・片噛み・口呼吸など）で変形することで起きることが分かった。口呼吸が誤った出産や哺乳で起き、これが身体だけでなく、心（三つ子の魂百まで）の形成にも重大な影響のあることに気づいた。

人間は基本的には、腸とそこから進化した内臓から出来ており、それが生命体の基本であり、心（情）の基となっている。そしてこの生命体の性と食の欲求を充たすための担体としてできたのが体壁筋で、これが精神の基となっている。

口腔歯科は、この2つに接していて、腸（＝心）をみながら、筋肉（＝精神）をみる。まさに遠近めがねの役を担っている。（2月27日 15:00-チカコサロン：梅田にて講演）

杉原 伸夫（すぎはら のぶお）

1955年      大阪生まれ  
1981年      大阪府立大学大学院農学研究科修了  
製薬会社 勤務を経て  
1985年      滋賀医科大学医学部入学  
1991年      同大学卒業  
付属病院第2内科で研修開始  
1992年～    京都、兵庫の病院等に勤務の後  
2001年      西宮市に杉原医院 開院



柳本信雄先生

### ◎ NPO役員

冒頭でお知らせした通り、理事が5名になりました

理事長	神山 五郎	新任
副理事長兼専務理事	皆川 容子	
理事	柳本 信雄	新任
理事	杉原 伸夫	新任
理事	白井 坊隆	
監査	妹尾 芳郎	（公認会計士・税理士）



杉原伸夫先生

### ◎ 会員制度が変わりました

NPO会員は正会員、賛助会員、利用会員の3種になります

**正会員** この法人の目的に賛同して入会し、直接運営に携わる者、NPO法の社員

**賛助会員** この法人の目的に賛同して事業を援助するために入会した者

（協力金 月1000円以上。利用する際の会員特典は従来通りです）

**利用会員** 利用するために入会した者

（年会費3000円、利用する際の割引率等は、賛助会員より低くなります）

### ◎ 会員の増加にご協力ください

2010年1月現在、総会員数は453名です

NPOの活動（チカコ健康サロン開催等）は会費と協力金によって運営しております  
会員増加にご協力下さいますよう、よろしくごお願い申し上げます 2月中はキャンペーンとして、入会費無料にて会員募集しております。（別紙参照） 会員様がお知り合いをご紹介下さり、その方が会員登録すれば、お礼にプレゼントがあります

## 日本伝統文化と健康について

(1月23日 チカコ健康サロン講演要旨)

岡田 恒良医学博士



数年前にある方の紹介でこちらに伺って以来、松田先生ともお会いして、患者さんにもこちらのことをお勧めしています。

10年程前までは普通にお薬を使っていたんですけど、薬害とか検査漬けとか、いろんなところが矛盾していることに気が付き始めました。

20年位医者をやっていると、大体皆おかしいと気がつくんですね

その頃からホリスティック医学協会とか、帯津先生、森下先生にお会いして勉強しました。そういうことから医療の間違いを正そうといった活動を中心にしながら、名古屋のクリニックでは、往診などをして医療をしています。

さて、今日のテーマである「日本の伝統文化と健康について」ですが、和食、和装、あるいは和式とかがあると同時に、洋食、洋式、洋風、洋装とかがあります。

今は服と言えば洋服になってしまって、いろいろ洋をつけない、トイレだって洋式が当たり前になってしまいました。

戦後60年間で、かなり洋式の文化が入ってきて、日本人の生活が変わりました。これがやっぱり今の病気に現れているんですかね。

### 畳の生活

和式の生活は、畳の生活、これが、いかに足に良かったかということ、足を支えていたということを沢山のの人に知ってもらいたいんです。

足がちょっと弱いといってすぐベッドにしない方が良く、いつも言っています。本当に歩けなくなったら別ですけど、まだ立っているうちは、立ったり座ったりのご苦労はした方が良いでしょう。

三度のご飯も畳に座って食べていたのです。用意するお母さんたちも茶碗を上げ

たり下げたり、そのたびに立ったり座ったりしていました。

茶道でも、茶道具のお運び、襖の開け閉めなど立ったり座ったりを繰り返します。大切な茶道具を持ってふらついているわけにはいかないので、相当慣れが必要です。

日本に限らず、海外でも立ったり座ったりすることはやっています。インドのヨガとか、チベットの行とか、ですね。これらは宗教的行事に化けているんですけど、日本では宗教的行事でなくても、ちゃんと日本文化がそうになっています。日常生活そのものが筋肉の鍛錬であり、足腰をきたえていたのです。

### 骨と筋肉と血管

大腿骨頸部骨折というのが、最近非常に増えています。これは欧米の病気でした。日本人は足腰をしっかり鍛えているので戦前は余りありませんでした。

骨というのはビタミンDを飲もうが、アルファロールを飲もうが、骨粗鬆症の薬を飲もうが鍛えられません。骨だけ単独に存在するのではなく、全部に筋肉がついています。筋肉が骨を引っ張る、骨も負けまいとして丈夫になるんです。

骨に関しては、口から採る栄養より運動不足の方が心配であって、できれば階段を使ったり、歩いたりするくせをつけてほしいということです。

そういったことが筋肉の血の流れを良くします。

長時間、健康に歩いたり動いたりできるためには、常に酸素を供給するということが大事です。良い筋肉とは、血管が沢山張り巡らされている筋肉です。

血流さえ十分に供給されていれば、筋肉量が少なくても、持続力のある運動が可能です。

### 酸素不足がガンを招く

日本伝統文化ということですが、すこし生理学的なことでも言いたいのですが、安保先生は、「ガンは酸素なしでエネルギーを

含んでいる組織だ」と言われて居られます。酸素不足がガンを招くとも言う。酸素がないということは、赤血球が少ない、血液不足、酸素不足、血流不全でガンになる。

実際に、血流の停滞し易いところがガンの好発部位になっています。こういうことを真面目に治療に活かしたり、ガンの研究に活かしたりと、今の医学はやっていません。こうした基礎的なメカニズムについては忘れて、遺伝子ばかり研究している。

森下先生なんかは、赤血球そのものがガンになるのではないかとされています。

## 湿度と日本家屋

日本は、特殊な位置にあって、台風がよくある。台風は真水を持って来るんですね。それに雪が平地にも多く降る。夏は台風、冬は雪を、四季を通して真水が大量にあるということは湿度が多い。日本家屋は、湿度ということを中心に設計されています。

湿度とは、その気温で飽和水蒸気量に対する、実際の水分量の割合のことで、同じ湿度でも気温の高い時は水蒸気量が多いし、寒い時は少ないわけです。そこで冬は加湿する。家の中は加湿しなくても、台所仕事、お風呂、人がいるだけで湿度は上がる。夜になって暖房を消すと、外は寒い、床や壁など冷たい部分に触れた空気は急激に冷やされ、水蒸気が余り、その分が結露となります。

日本の家屋は本来風通しを良くする設計になっています。土壁は水蒸気を吸収してくれます。風通しが良いから抜けていた。

空気が循環するから火が焚けた。炎は赤外線を出すから、直接体を温めます。

壁土は激しく揺れると落ちる。屋根瓦も固定していないので落ちる。でも柱は残るので倒れない。地震の多い日本に適しています。

## 和装

衣服にしても、日本はゴムのない国でしたから、ヒモです。今は下着も靴下も全部ゴムで循環を悪くします。

和装は、下腹部を締め、小腸や腰部を芯から暖めます。小腸は赤血球を造る活力の源ですから、最も大切な臓器の一つです。それをしっかり支え、暖めるには和装に限ります。帯を締めるので、洋装に比べて姿

勢が良くなる。へそだし、腰だしルックでは、健康な身体にはなりません。

湿度の多い日本では、靴より下駄が良い。子供が成長していくに従ってクツを買い替えなくても、下駄は三段階位で済むので資源の無駄にはならない。鼻緒は、親指と第2指をしめる筋肉運動で、身体全体の正中線をしめる筋肉活動につながります。

和装の伝統的な素材は麻です。麻は、紙に、布に、食に用いられてきました。

麻の油はオメガ3系でαリノレン酸が多いすぐれた油です。もちろんゴマとか、松の実、クルミなどからも油をとりますが、搾った油は酸化するから、直接実を食べた方が良いでしょう。昔の日本は、麻の実を食べていたそうです。

## 血管をコントロールする自律神経

油は、酸化すると、過酸化脂肪酸といって動脈硬化の元が作られてしまう。酸化コレステロールも作られる。コレステロールは必要なものだが、これが酸化すると血管中にもぐりこんで、血管の内側が痛みます。

動脈硬化は血流を悪くします。

血管をコントロールしているのは自律神経で、交感神経が優位になると血管を狭くし、血流を低下させます。血がいかない。酸素がいかない。ガンになる。

不安、恐怖、明日を憂う、生きていたくない、おもしろくない、さまざまなマイナス要因ですね。これが、自律神経を介して、血管を締めあげ、神経も悪くし、ホルモンにも影響する。そういう精神的な要素が、あらゆる病気の6割を占めています。

食べ物を変えたり、物理的用法で血流を良くしたりするのもかなり良いのですが、最も改善しなければならないのは「心の冷え」で、これが一番難しい。ガンとか難病が治らないという宣告は更に悪くする。

現在、これだけ難病が次々と発生し続け、その根本治療法がないということは、一体、どういうことでしょうか。原因となっているのは、ストレスによる免疫機能の低下に違いありません。自律神経を介してかなり健康を阻害される。食べ物は大事なんです。こちらではよくご存じですので省きます。

## 過剰労働と自己本位

不健康なものを売りまくる社会現象、社

会構造、大量消費、本来は要望があつて作るものだが、余りにも大量生産しすぎです。そして、いらぬものを沢山買い過ぎていきます。体にとって良くないもの程、子供に食べさせたくないもの程、宣伝する訳です。これが経済戦争に結びついていくんです。

勤労や労働は、他の人々の便宜や、利便のためにあつたわけですが、現代は、自己の利益のため、自己の満足のために労働し、どこまでも働き続け過剰労働となつていきます。一つのエゴイズムからきている主義とも言いますね。エゴイズムが原点だということ、誰でもおわかりだと思います。

## 日本人と自己

日本は自他の区別がない自己称を使う国なんです。これは、欧米には考えられないことで日本文化と西洋文化の違いです。

日本は、非常に複雑な言語を持っています。カタカナ、ひらがな、漢字を使って、こんな面倒くさい言葉を使っているんです。かたや26文字です。50音の半分です。こんな複雑な言語を使いこなせるだけで、相当に頭が訓練されている。

日本は自他の区別を余りつけない国であつたということは、「和の国」であるという事です。

協調する、団結心があります。いざという時、強調して、奪い合いとかしない。阪神大震災の復興がそうでした。

共存共栄するような文化が、日本にはずっとありました。これは自己を、エゴイズムをきらう文化なんです。

自己主張というのは、子供がやることだという思想が日本にはありました。欧米では、大人は自己主張しなきゃいかんし、負けておれんという文化がありました。

日本は、自己に対するしがらみというものが薄い国だったんです。これは非常に良いことで、不安恐怖を無くす一番の方法です。差別もいじめも、争いもない国では、立身出世して、自分一人登り詰めることもない。社長になったり、教授になったり、大金持ちになったりして、不安恐怖がなくなっているか、というと、逆で、益々増えているんです。登り詰めると下るのがこわい。いったん、何か得ると、それをなくすのは嫌ですよね。経済というのは、自己所有というもののために、相当苦しめられて

いる。

うつ病とか、閉じこもりは、本来みな良い人なんですね。利己主義じゃない、協調性が豊かで毎日にこにこ楽しく過ごしたい人が、すごい高回転で走っている会社の中に入ると、頭がパニックになってしまいます。そして病院に行くと、病名がつけられて、薬がでる。この薬を飲み続けるとやめられなくなる。やめると、もっと悪くなる。医者は個人の責任にするんです。あなたが弱くから病気になるとか、家族が悪いとか。今の社会構造自体が、そういう方々に適さないのです。

## 自己にこだわらない

今のストレスというのは、耳と目から入って来てるんじゃないんでしょうか。結局、自己の心配をするから、病気は治らない、早くガンから解放されたいと、いつも頭の中がいっぱいです。「ガンを治そうと思うと治らない」ということです。自己のこだわらない概念が、一番平安な生活、ストレスのない生活の近道です。何か悪いことがあつても、それは学習させられていると思う。病気も、それによって精神的に鍛えられたりします。

やりたいことをやる、やらなきゃならないことをやる。そうすると、病気はなくなっていきます。

やるべきじゃないことをやっていると、それをストップさせるために病気になるんです。病気になって、やるべきじゃなかったことをしていたことに気がつきます。病気をすることによって、精神的に鍛えられたとか、友達ができたとか、良い知識が得られたとか、効果があります。そうやって運命を呪ったり、後悔したりすることをどんどん少なくしていくのです。

何か悪いことがあつても、これには何か意味があるんだな、と考えるのです。そういう運だったんだな、ということであつて、自己選択しているものは殆どないんです。

さからわない、こだわらないという概念が、一番平安な生活というか、ストレスの無い生活の近道です。

西洋文化は自己中心でなければならぬ、競争努力の国ですけど、日本は融合の文化です。「和の文化」です。


NPO法人 ネイティブヘルス
健康サロン
予定表

知識(チ) からだ(カ) ころ(コ) の健康を考える人たち、仲間づくりのサロンです

月・日 時間	講師(敬称略) 演題	会 費	備考
2月16日(火) 15:00-16:30	皆川 榮治 「親日国台湾」 講演&台湾ツアー説明会	会員 無料 一般 1000円	大阪・梅田
19日(金) 15:00-16:30	神山 五郎 「神山五郎の健康談議」 平成版養生訓	会員 無料 一般 1000円	東京・四谷
20日(土) 15:00-16:30	皆川 容子 「あなたの腸はお元気ですか」 菜食整腸健康法	会員 無料 一般 1000円	東京・四谷
27日(土) 15:00-16:30	柳本 信雄 「およそすべての病気は腸=内臓-心情 と筋肉-精神-のせめぎあいである だからホロン(繋がり)治療が必要である」	会員 無料 一般 1000円	大阪・梅田
3月13日(土) 15:00-19:00	指導者研修会 (16:00~ あしたば会総会 (16:00~ 懇談会 (17:00~19:00)	研修卒業生対象	大阪・梅田 別紙
16日(火) 10:30-12:30	皆川 容子 「ローフードクッキング」 火を使わない料理教室	会員 1000円 一般 2000円	大阪・梅田 エプロン持参
19日(金) 11:00-13:00	同上	会員 1000円 一般 2000円	東京・四谷 エプロン持参
20日(土) 15:30-19:00	指導者研修会 (15:30~ 懇談会 (17:00~19:00)	研修卒業生対象	東京・四谷 別紙
27日(土) 15:00-16:30	佐々木 宏・聡子他 「ピアノとコントラバスと すてきな仲間」コンサート	会員 無料 一般 1000円	大阪・梅田
4月18日(日)~22日 4泊5日	NPO10周年記念ツアー 「日本時代の台湾を訪ねて」 日本の心にふれる旅X I		別紙
5月20日(木) JR京都駅 11:30 集合	茶香服と生麩料理 香道のお茶版(茶の種類を香りと 味できき分ける雅な遊び)	会員 7800円 一般 8800円	別紙

前日までに必ずご予約ください <予定は変更する場合があります>  
 問合せ・予約 大阪 06-4802-6880/2 東京 03-3359-5288

◎よみうり文化センター講座 皆川容子「腸マッサージとローフード=菜食整腸健康法」  
 梅田・よみうり文化センター 4月から開講 第2金 13:00~  
 よみうり・日テレ文化センター 恵比寿 同 第3金 15:30~  
 // 錦糸町 同 同 18:45~

## チカコ健康サロン講師プロフィール（敬称略）

### 皆川 榮治

新原経営顧問(股)公司 董事長兼總經理 台北市在住  
関西学院大学 法学部卒  
1964年湯浅電池(株)入社 営業部長、台湾湯浅電池公司總經理歴任、  
1992年(株)タナベ経営入社経営コンサルタント、良友企業管理顧問(股)公司副總經理、  
1996年4月新原経営顧問(股)公司設立、現在に至る(台湾在住通算 20年)

「台湾は、最も深い親日国です。その理由は二つあります。一つは、日本統治時代(1895年から50年間)が、インフラのみならず医療、教育などが良かったこと。もう一つは、その後の中華民国(中国人)統治がひどかったこと(賄賂や知識人弾圧など)から中国人への反発が強まったことです。今でも残る台湾人達の日本への郷愁は、戦後台湾を軽視し続けた日本への怒りの裏返しでもありません。台湾に残る日本統治時代を眺め、日本の良さを見つめることも意義の深いことでは？」

### <アンサンブルファミリア>

#### 佐々木 宏 (コントラバス)

桐朋学園大学卒業 関西フィルハーモニー管弦楽団にコントラバス奏者として在籍

その傍ら、多方面で指揮活動を行う

現在、八尾フィルハーモニー交響楽団、グローバリストフィルハーモニーの常任指揮者

#### 佐々木 聡子 (ピアノ)

桐朋学園大学短期大学部音楽科ピアノ専攻卒業

カワイ音楽教室ピアノ講師、桐朋学園大学付属子供のための音楽教室講師を経て、

現在、大阪国際大学短期大学部、京都造形芸術大学非常勤講師

ソロ、伴奏、室内楽、オーケストラピアニストなど、多方面で活躍中

#### 佐々木 有紀 (ピアノ)

相愛高校音楽家1年生 7歳からピアノを始める 小6の時、父宏の指揮でモーツァルトのピアノコンチェルトを好演 2008年夏、パリ国立高等音楽院のイヴ・アンリ教授マスタークラスに参加 21回夢コン全国大会において優秀賞並びにオーケストラ特別賞受賞 現在、西岡知子、奈良希愛の両氏に師事

#### 山下 綾美 (クラリネット)

大阪音楽大学短期大学部卒業 小川哲生、梅本貴子の各氏に師事 現在、室内楽、オーケストラ、ソロなど幅広く活動している

## 法人組織リニューアルキャンペーン(2月中)

☆入会費 無料

☆整腸体験(40分) 4500円→3800円 (50分) 5500円→4600円

☆お試しランチ 会員価格

その他いろいろ、別紙をご覧ください

### あとがき

「医学専門の方に理事長を」という長年の念願がようやく叶えられました。その上、新たに二人の先生にも理事になっていただき、とても心強く、よろこんでおります。

神山理事長も言っているように、皆さまのご意見をどんどん吸い上げ、より良いNPO活動をしていきたいと思っておりますので、苦言、甘言なんでもお聞かせくださいませ。と言っても、言う機会がないとお考えでしょう。そこでアンケートをお願いすることにしました。ご意見お待ちしております。皆さまのパワーで、このNPOが発展し、健康で明るい社会になっていくことを望んでいます。

「明日葉(あしたば)」第41号 2010年2月5日 編集・発行 NPO法人ネイティブヘルズ  
〒530-0014 大阪市北区鶴野町1-5-403 TEL.06-4802-6880 4-A71'S http://www.nponh.com http://www.nhcademy.co.jp